

Cisco TelePresence SX10、SX20

ユーザ ガイド

D1509709 ユーザ ガイド Cisco TelePresence TRC 6

作成日 2016 年 12 月 (CE 8.3)

All contents © 2010-2016 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved





このユーザ ガイドの内容

ビデオ会議：概要

ベスト プラクティス	4
タッチ スクリーンの説明	5
リモート コントロールの説明 (I)	6
リモート コントロールの説明 (II)	7

ビデオ通話

連絡先リストから発信する	9
連絡先リストのエントリ ステータスを編集して発信する	10
帯域を編集して発信する	11
名前、番号、またはビデオ アドレスから発信する	12
着信	13
スクリーンのレイアウトの変更	14
取り込み中を有効にする	15
スタンバイを有効にする	16
すべてのコールを転送する	17
すべてのコールをボイスメールに転送	18

Intelligent Proximity

Intelligent Proximity	20
-----------------------------	----

Spark で接続したシステム

スタート ガイド	22
----------------	----

コンテンツの共有

プレゼンテーションの開始と中止	24
-----------------------	----

予定された会議

会議リストを表示する	26
------------------	----

連絡先

非通話時に [お気に入り (Favorite)] に追加する	28
通話中に [お気に入り (Favorite)] に追加する	29

カメラ操作

カメラ設定を表示する (ローカル カメラ)	31
画面上のピクチャ イン ピクチャの位置を変更する	32
相手先カメラ操作	33

設定

設定にアクセスするには	35
-------------------	----

目次のエントリはすべてクリックできるハイパーリンクになっており、対応する項目に移動できます。

サイドバーのアイコンをクリックして章を移動することもできます。



ビデオ会議： 概要



ベスト プラクティス

効果的なビデオ会議では、出席者の距離がどれだけ離れていても、対面式の会議を行えます。ビデオ会議であっても、会議であることには変わりありません。通常のマナーや、服装を心がけるようにしてください。

- プライバシー上の理由により、装置を [自動応答 (Automatic Answer)] に設定し、可能であればマイクはミュートにしておきます。
- 必要に応じて、リハーサルや確認を行ってください。
- マイクの前方には、物などを置かないようにしてください。

■ テーブルにコンピュータなどのノイズ源を置く場合は、必ず本体のマイクから離してください。これらのノイズ源からの雑音は、遠隔地の出席者には、予想以上に大きく聞こえます。

■ 遠隔地からの出席者について、バックグラウンド音楽に注意してください。カメラに部屋の外の廊下が映り込むと、人が通る際にリモート出席者の注意が散漫することがあります。柄が目立つカーテンや、風によるカーテンの動きなども、集中を妨げる場合があります。

■ コンテンツを共有する場合、システムは 2 本のビデオ ストリームを使用します (デュオ ビデオ)。1 本はプレゼンテーション用、もう 1 本はプレゼンター (またはプレゼンター グループ) 用です。小規模のシステムの場合、プレゼンテーションとプレゼンターのどちらを表示するかを視聴者が選択する必要があるかもしれません。

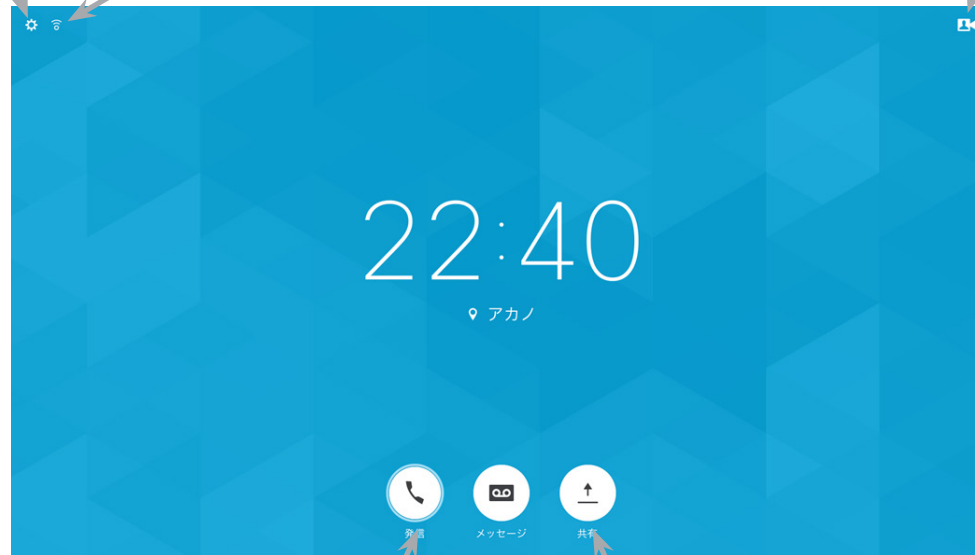
■ デュオ ビデオの場合、注意が必要な点があります。一部のビデオ システムのデュオ ビデオは、画面を半分に分けて、プレゼンテーションとプレゼンターを横に並べて表示します。このため、プレゼンテーションに背を向けて座っているように見えないよう、カメラをまっすぐ見るようにしてください。

タッチ スクリーンの説明

画面の左上には、[スタンバイ (Standby)] モード、[システム情報 (System information)]、[取り込み中 (Do Not Disturb)] の各機能にアクセスできる設定アイコンがあります。

このシステムで [プロキシミティ (Proximity)] が利用可能な場合は、設定ボタンの右にアイコンが表示されます。

ディスプレイの右上に、カメラ コントロール メニュー アイコンがあります。



ディスプレイの下よりの左には [発信 (Call)] アイコンがあります。

ディスプレイの下よりの右には [コンテンツ 共有 (Share)] アイコンがあります。

操作ヒント

画面上を移動するには、リモート コントロールにある**方向キー**を使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、**OK/Enter** を押します。

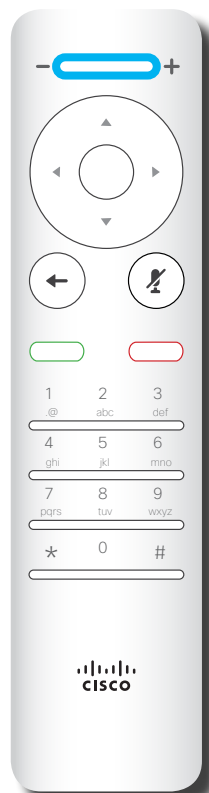
変更を実行せずにメニューを終了するには、**キャンセルキー**を使用します ([ホーム (Home)] 画面に戻ります)。**戻るキー**を使用して 1 つ前のステップに戻ります。

リモート コントロールのボタンについては、次のページで説明します。

[応答不可 (Do Not Disturb)] に設定すると、着信音はミュートになり、他者からの着信は不在着信として表示されます。ただし、こちらからは必要時にいつでも発信することができます。

デフォルトでは、[応答不可 (Do Not Disturb)] には 60 分間のタイムアウトが設定されています (その後システムは通常動作に戻ります)。この設定はビデオ サポート チームによって変更されている場合があります。

リモート コントロールの説明 (I)



一番上のボタンの左側は、音量を下げる (減) の機能を持ちます。

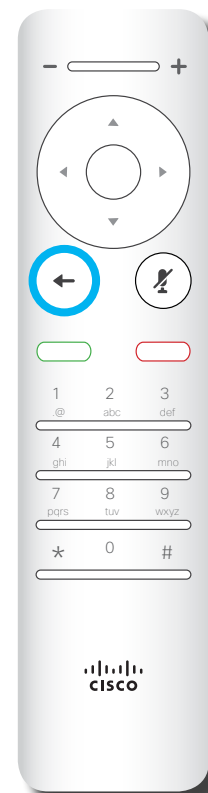
一番上のボタンの右側は、音量を上げる (増) の機能を持ちます。



フィールド選択/方向キーを使用するには、円形部分の周囲にあるキーを使用します (左/右/上/下)。



OK/Enter は中央の円形キーを使用します。



1 つ前のステップに戻る操作は左側の円形キーを使用します。

操作ヒント

画面の中を移動するには、方向キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、OK や Enter を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセルキーを使用します ([ホーム (Home)] 画面に戻ります)。戻るキーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

リモート コントロールの説明 (II)



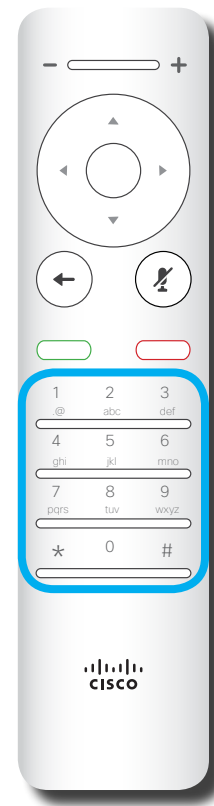
マイクのミュート/ミュート解除は右側の円形キーを使用します。



戻るキーの下にある緑色のキーは、[発信(Call)]/[着信通話(Accept incoming call)]ボタンです。



ミュート キーの下にあるキーは、[着信拒否(Reject incoming call)]/[通話終了(End call)]/[キャンセル(Cancel)]/[ホーム画面に戻る(Back to Home screen)]ボタンです。



キーパッドは、電話をダイヤルするときや数字を入力するときに使用します。キーがわかるように、数字の 5 のところに突起があります。

操作ヒント

画面の中を移動するには、方向キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、OK や Enter を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、キャンセルキーを使用します ([ホーム (Home)]画面に戻ります)。戻るキーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

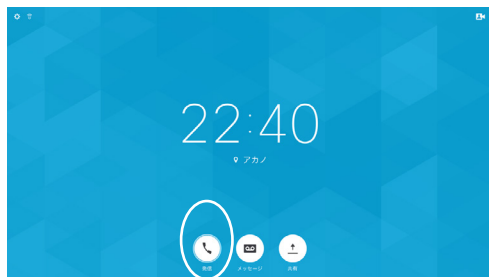


ビデオ通話



連絡先リストから発信する

1



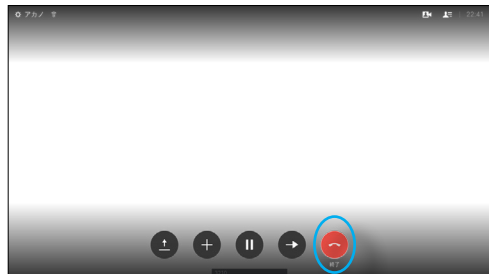
[発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。

3



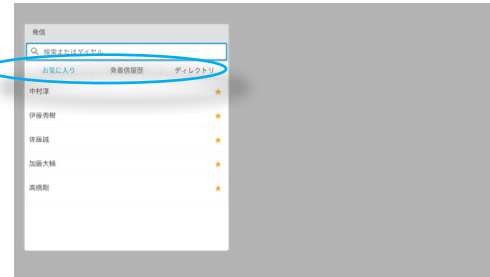
特定のエンタリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。

5



リモート コントロールの赤い通話終了ボタンを押すか、方向キーを使用して画面上の [終了 (End)] を選択し、OK を押して通話を終了します。

2



連絡先リストが表示されます。リモート コントロールの横方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替え (横方向)、いずれかのリストを選択できます。

4



次に、リモート コントロールの OK または緑色の発信ボタンを押して発信します。

連絡先リストについて

連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

[お気に入り (Favorites)] の連絡先は自分で設定します。通常は、頻繁に通話する相手や、すばやく簡単に連絡を取りたい相手を指定します。

[ディレクトリ (Directory)] は通常、ビデオ サポート チームがシステムにインストールした社内ディレクトリです。

[発信履歴 (Recents)] は、発信、受信、不在着信のリストです。

次のオプションが適用されます。

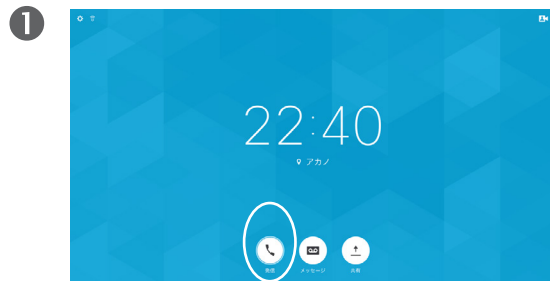
- 名前、番号、または IP アドレスを入力できます。ここでは、すべてのリストから検索されます。
- タブをタップしてからリストをスクロールするか、または名前や番号を入力して検索できます。検索はそのリストに対してのみ実行されます。
- [お気に入り (Favorites)] リストに追加したエンタリは、発信の前に編集したり、帯域 (通話に適用された帯域幅) を変更したりすることができます。

連絡先リストのエントリ ステータスを編集して発信する

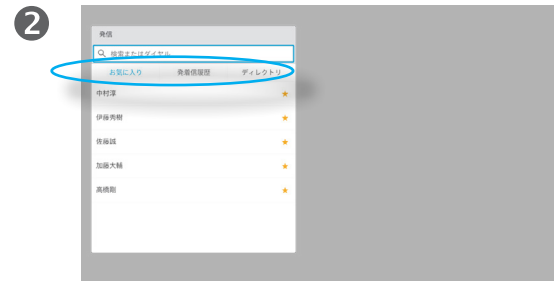
エントリの編集について

発信する前に、[連絡先 (Contact)] リストのいずれかのエントリを編集する必要があります。たとえば、正しく発信するために、プレフィックスやサフィックスを追加するか、またはエントリ自体を変更する必要があるかもしれません。

またこの一連のオプションでは、[帯域 (Call Rate)] ([カスタム コール (Custom call)] と表示されているコールに割り当てられている帯域幅) を変更したり、現在のエントリを [お気に入り (Favorite)] に追加したりすることができます。



[発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。



リモート コントロールの横方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発着信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替えてから、いずれかのリストを選択できます。



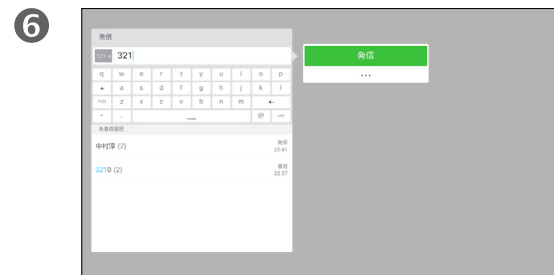
特定のエントリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。



リモート コントロールの下方向キーを使用してカーソルを下に動かし、[詳細 (More)] フィールド (...) を選択して OK を押します。



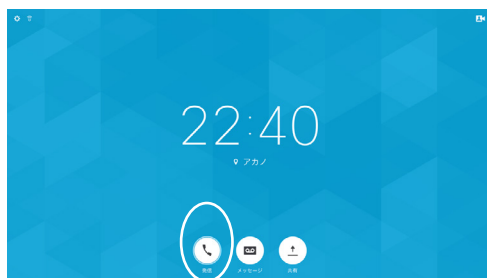
下の [編集して通話 (Edit and Call)] に移動し ([詳細 (More)] メニューの中央のフィールド)、OK を押します。



必要に応じてエントリを編集し、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押して発信します。

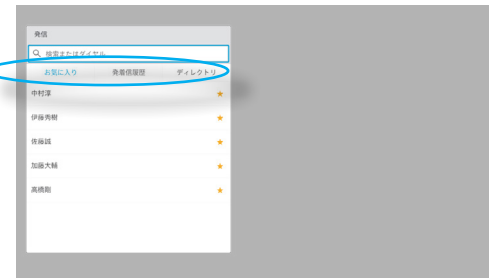
帯域を編集して発信する

1



[発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。

2



リモート コントロールの横方向キーを使用すると、[お気に入り (Favorites)]、[発着信履歴 (Recents)]、[ディレクトリ (Directory)] を切り替えてから、いずれかのリストを選択できます。

3



特定のエンタリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。

4



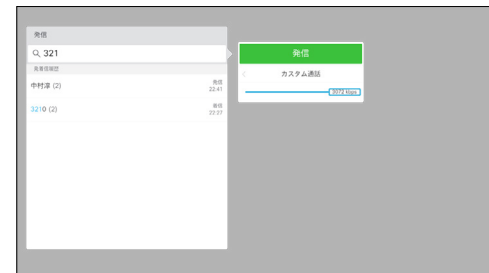
リモート コントロールの下方向キーを使用してカーソルを下に動かし、[詳細 (More)] フィールド (...) を選択して OK を押します。

5



[詳細 (More)] サブメニューから [カスタム コール (Custom call)] (右側) に移動し、OK を押します。

6



横の矢印キーを使用して帯域を調整し、緑色の発信ボタンを押して通話を発信します。

帯域について

「帯域」とは、通話に割り当てられている帯域幅を示すために使われる用語で、単位は Kbps (キロビット/秒) です。

帯域が大きくなるほど品質が向上しますが、帯域幅使用量も増えます。

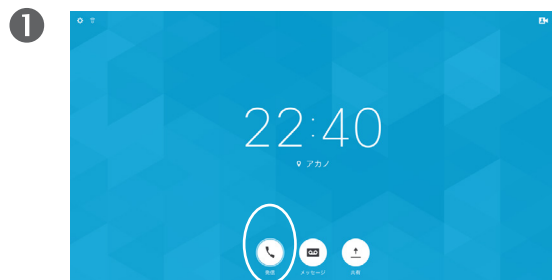
システムでは、デフォルトの帯域が設定されています。通常は、ビデオ サポート チームが設定します。

この設定を一時的に変更する理由について説明します。多くの場合、システムと接続がサポートしている帯域よりも大きい帯域で通話しようとするときにビデオ コールのチョークを避けるために使用します。

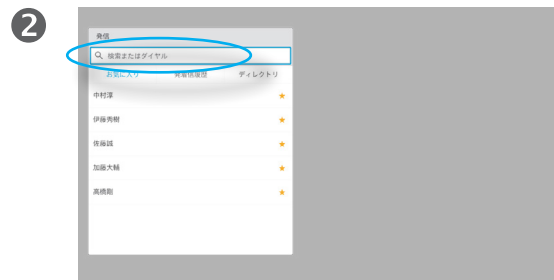
通話中に帯域を変更することはできませんが、左側で説明するように発信の直前なら変更できます。

名前、番号、またはビデオ アドレスから発信する

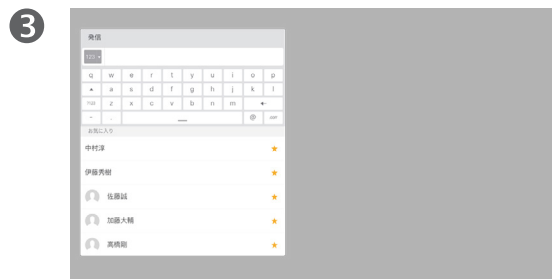
発信について



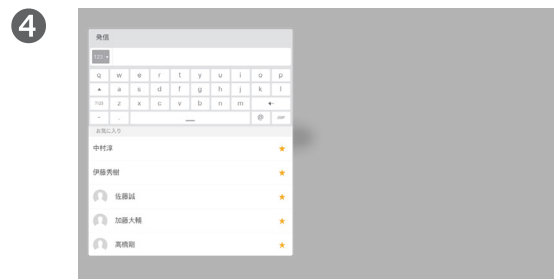
[発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のアイコン) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、リモート コントロールの緑色の発信ボタンを押します。



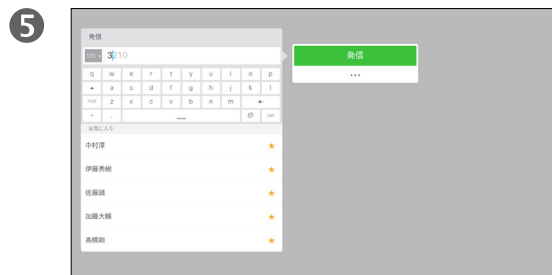
上方向キーを使用して、メニューの一番上にある [検索またはダイヤル (Search or Dial)] フィールドを選択します。[OK] を押します。



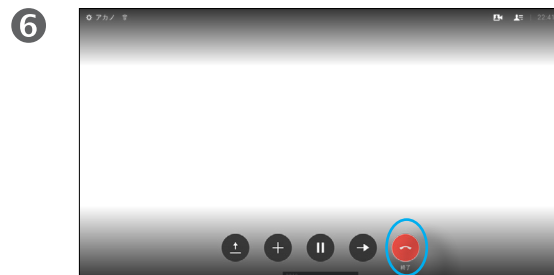
数字を入力するには、リモート コントロールの対応するキーを押します。



仮想キーボードを使用するには、キーボードに移動し、キーボード上で文字を選択します。OK を押して、文字を選択します。



緑色の[発信(Call)]ボタンを押して発信します。

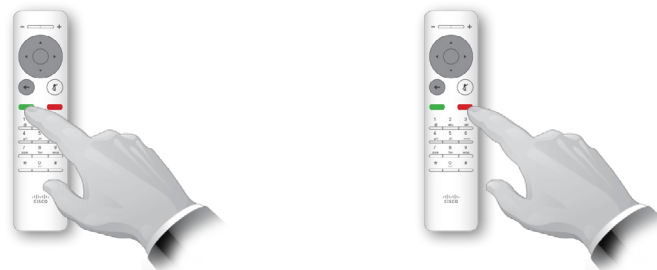
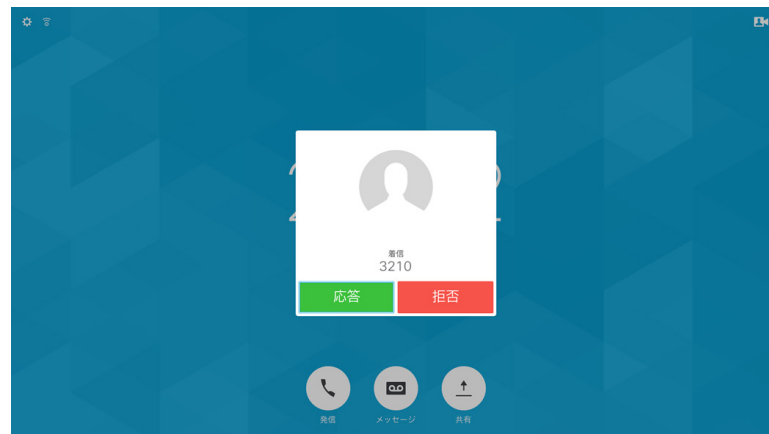


リモート コントロールの赤い通話終了ボタンを押すか、方向キーを使用して [終了 (End)] を選択し、OK を押して通話を終了します。

連絡先のリストに載っていない相手に発信するには、仮想キーボードを使用して名前、アドレス、または番号を入力します。

これまでのすべての発信先が [発信履歴 (Recents)] リストに表示されます。これらの発信先は [お気に入り (Favorites)] リストに転送できます。これについては、「連絡先」セクションで説明しています。

ビデオ アドレスを使用した発信
IP タイプのビデオ アドレスを使用する場合も、発信手順は同様です。アドレスを入力します。その際、セパレータには * (リモート コントロールの左下にあるアスタリスクのボタン) を使用します。システムはこの記号を IP アドレスの有効なセパレータとして解釈するため、ビデオアドレスは入力したとおりに正しく表示されます。



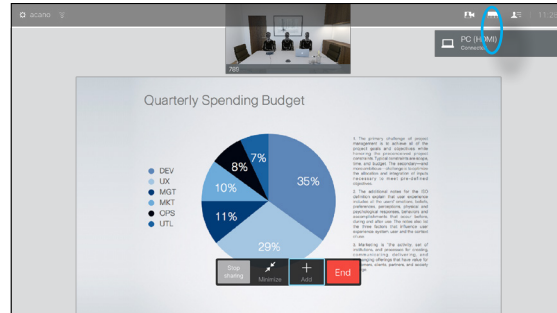
リモート コントロールの円形ボタンの下にある発信／通話終了キーを直接使用することもできます（通話を許可するには左側の緑色のキー、拒否するには右側の赤のキー）。

着信があった場合

- 着信があった場合は、通話を許可、拒否、または無視できます。
- 通話を拒否した場合、ビジーであるという情報が発信者に送信されます。

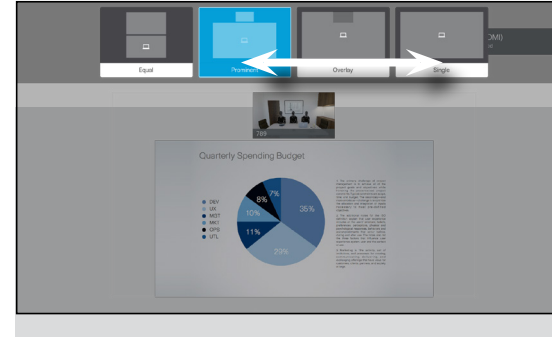
スクリーンのレイアウトの変更

①



右上の**レイアウト** (🖥️) に移動し、リモート コントロールの OK を押します。該当する場合にだけ、このアイコンが表示されます。

②



リモート コントロールの横の矢印キーを使用して、新しく使用するレイアウトに移動し、OK を押します。

レイアウトについて

コンテンツを共有する場合、またはビデオ会議中の場合は、画面に表示されるビデオのレイアウトを変更できます。

ビデオ会議は、組織に一定のインフラストラクチャがないと開始できません。ご不明な場合は、ビデオ サポート チームまでお問い合わせください。

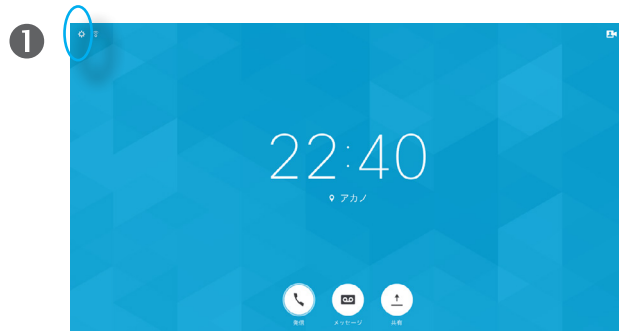
ただし、ビデオ会議への招待を他の人から受けることはできます。この場合、画面レイアウトを変更する機能を使用できます。

ここで行った変更は、他の人には影響しません。



利用状態

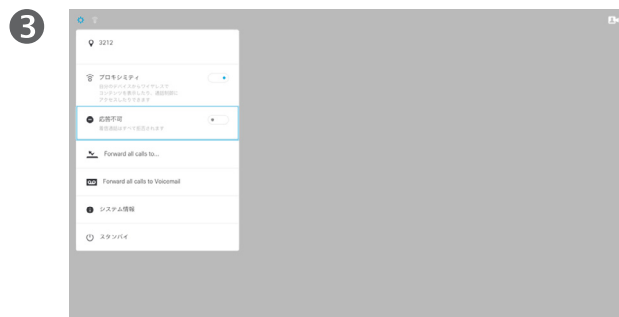
取り込み中を有効にする



ホーム画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定フィールドを選択します。



リモート コントロールの OK を押します。



リモート コントロールの下方向ボタンを使用して [取り込み中 (Do Not Disturb)] に移動し (1 つ下)、リモート コントロールの OK ボタンでオンまたはオフに設定します (切り替え)。システムで Intelligent Proximity が有効に設定されている場合は、下方向ボタンを 2 回押す必要があります。



リモート コントロールの OK キーを押してメニューを終了させると、変更が有効になります。

応答不可について

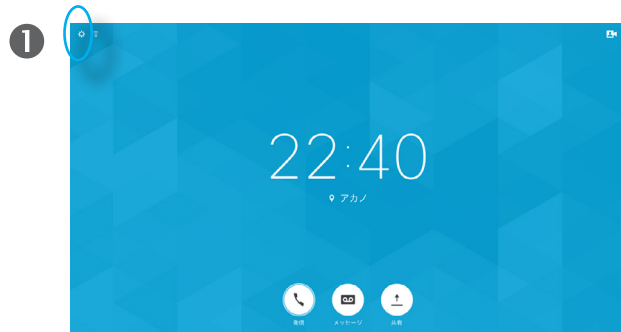
システムは、着信通話に応答しないように設定できます。

[応答不可 (Do Not Disturb)] に設定すると、着信音はミュートになり、他者からの着信は不在着信として表示されます。ただし、こちらからは必要時にいつでも発信することができます。

デフォルトでは、[応答不可 (Do Not Disturb)] には 60 分間のタイムアウトが設定されています (その後システムは通常動作に戻ります)。この設定はビデオサポート チームによって変更されている場合があります。

スタンバイを有効にする

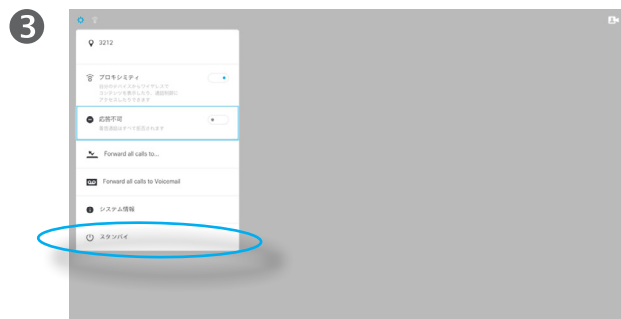
スタンバイについて



ホーム画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定フィールドを選択します。



リモート コントロールの OK を押します。



リモート コントロールの下方向ボタンを 5 回押し、[スタンバイ (Standby)] を選択します。システムで Intelligent Proximity が有効に設定されている場合は、下方向ボタンを 6 回押す必要があります。



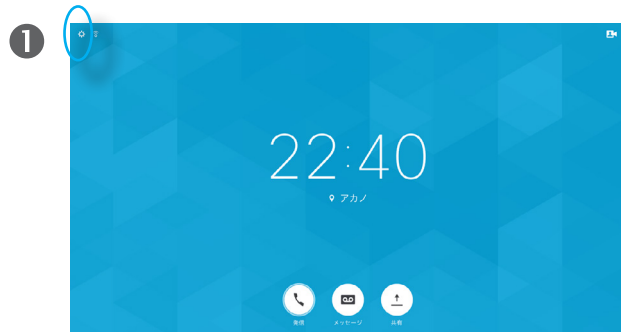
リモート コントロールの OK キーを押してメニューを終了させると、変更が有効になります。

システムを [スタンバイ (Standby)] に設定すると、電力を節約できます。この場合も、通常どおりに着信できます。



利用状態

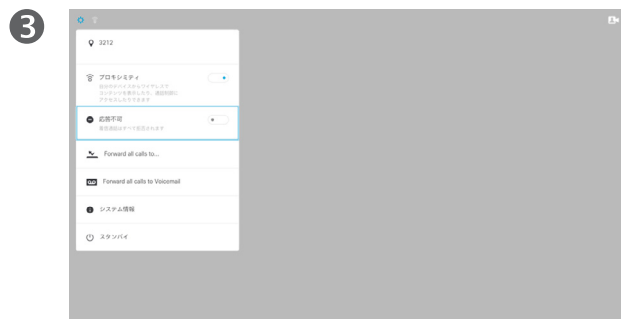
すべてのコールを転送する



ホーム画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定フィールドを選択します。



リモート コントロールの OK を押します。



リモート コントロールの下方向ボタンを 2 回押し、[すべてのコールの転送先... (Forward all calls to...)] を選択します。



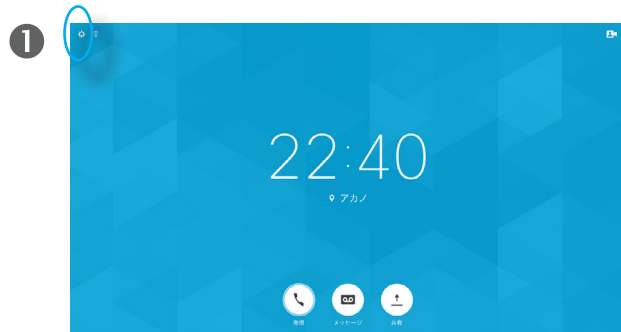
見慣れた [発信 (Call)] メニューが表示されます (ただし、ここでは [すべてのコールの転送 (Call Forward All)] と呼ばれる)。発信する場合と同様の方法で、すべてのコールの転送先となる受信者を指定します。

すべてのコールの転送について

この機能を使って、機能がアクティブである限りすべてのコールが転送される転送先の名前、番号、またはアドレスを定義できます。

すべてのコールをボイスメールに転送

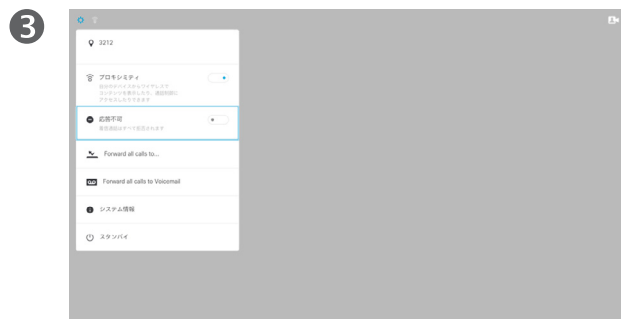
ボイスメールへの転送について



ホーム画面でリモート コントロールの方向キーを使用して、画面左上の設定フィールドを選択します。



リモート コントロールの OK を押します。



リモート コントロールの下方向ボタンを 2 回押し、[すべてのコールをボイスメールに転送 (Forward all calls to Voicemail)] を選択します。



リモート コントロールの OK キーを押してメニューを終了させると、変更が有効になります。

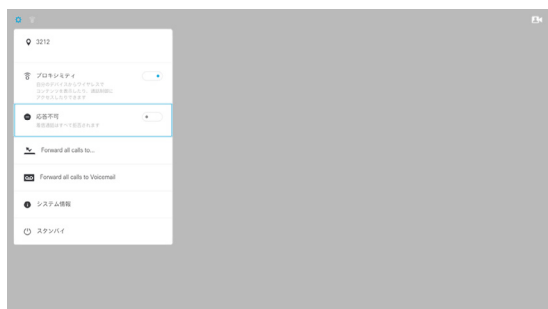
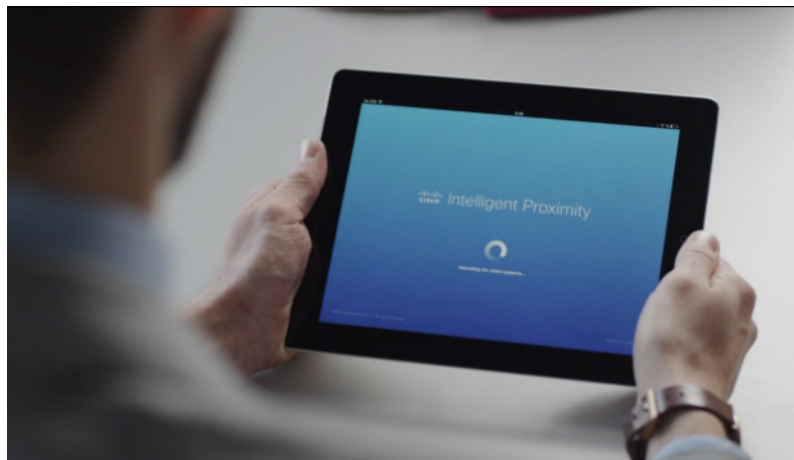
ビデオ システムがボイスメール サービスに接続されている場合、必要な場合はいつでも、すべてのコールをボイスメールに転送できます。



Intelligent Proximity



Intelligent Proximity



画面の左上にある設定フィールドに移動し、リモートコントロールの OK を押して Intelligent Proximity をオンにしてから、下矢印キーを 1 回押します。OK を押してアクティブにします。非アクティブ化するには、手順を繰り返します (切り替え)。

Intelligent Proximity を有効にしたシステムでは、画面の設定アイコンの横に プロキシミティ アイコンが表示されます。

Intelligent Proximity について

Intelligent Proximity 機能を使用すれば、手元のデバイスでワイヤレスにビデオシステムのコンテンツを共有、表示、キャプチャできます。またビデオ システムの通話を制御することもできます。

次のことを確認します。

- App Store または Google Play から、Cisco Intelligent Proximity アプリケーション (無料) をダウンロードする必要があります。Windows または OS X を使用している場合は、<http://www.cisco.com/go/proximity> [英語] にアクセスしてください。
- ビデオ サポート チームは、すべての機能を有効にしている場合も、一部の機能だけを有効にしている場合もあります。
- Intelligent Proximity では、ユーザとの接続に超音波を使用します。スマートフォンやタブレットのマイクをふさがないようにしてください。
- Intelligent Proximity は、会議室の外では機能しないように設計されています。
- ただしプライバシー上の必要がある場合は、会議室の入口を閉めて、隣室に音が漏れないようにします。



Spark で接続 したシステム





Spark で接続したシステム スタート ガイド

Cisco Spark アプリケーションは誰でも無料で使用できます。

- プライベートの 1 対 1 ルームやチーム ルームを作成できます。
- 組織内および組織外の人を含むグループで会話ができます。Cisco Spark を使用すれば、誰とでもチャットができます。
- 他の人を簡単に招待できます。
- モバイル デバイス、コンピュータ、Web ブラウザから、場所や時間を問わずに参加してコラボレーションが可能です。
- 1 対 1 のビデオ通話のほか、チーム ルームによる 3 パーティのビデオ通話も可能です。
- ユーザ 1 人あたり 5 GB のコンテンツ ストレージを無料で利用できます。
- 新しいメッセージやファイルが投稿されたときに通知を受け取るように選択できます。
- @mention 機能で、ルームの通知をオフにしている相手にもメッセージを通知できます。
- メッセージやファイルの履歴を確認し、タイムゾーンや場所に関係なく全員が最新の情報を得られるようにします。
- Box など他のサービスのコンテンツを共有できるほか、デスクトップからコンテンツを取得できます。共有するファイルをルームに簡単にドロップ アンド ドロップできます。すべてのファイル形式がサポートされています。
- 画像、PDF、Microsoft Word、PowerPoint のドキュメントをルーム内ですぐにプレビューできます。
- 人、メッセージ、コンテンツを検索できます。

- ルームに使いやすい統合機能を追加できるほか、お気に入りのソフトウェア ツールに webhook を追加できます。
- モバイル カレンダーと連絡先を統合できます。
- アプリケーションから WebEx を使用する CMR に参加できます。
- SIP 会議ブリッジや標準ベースの SIP ビデオ エンドポイントにダイヤルできます。
- エンドツーエンドのコンテンツを暗号化する機能により、共有メッセージやファイルを意図した相手にのみ表示することで、安心して作業ができます。
- まずは、以下のリソースをお読みください。
<https://help.webex.com/community/spark>
<https://help.webex.com/community/spark/content>

Spark の使用について

Cisco Spark アプリケーションは、チームが連係してリアルタイムに仕事を進め、つながりを維持するための場所です。メッセージの投稿、コンテンツの共有、対面ミーティングなどをお気に入りのデスクトップやモバイル デバイスから実行できます。

それらは、すべてクラウド上で安全に保存されます。また、コンテンツにはいつでもアクセスできます。ドキュメントや情報が最新かどうかを心配する必要はもうありません。Cisco Collaboration Cloud により、最新の状態が維持されます。



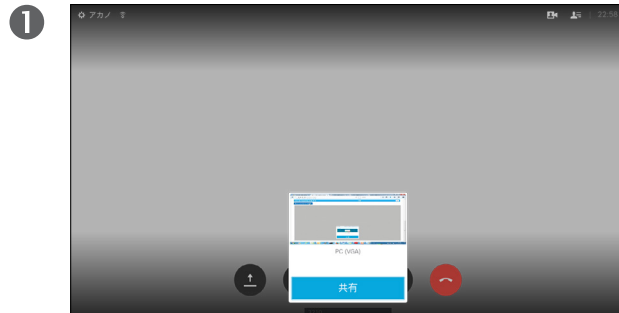
コンテンツ の共有



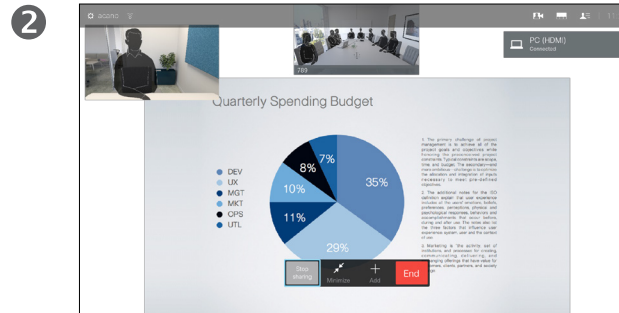
コンテンツの共有 プレゼンテーションの開始と中止

コンテンツの共有について

通話中または通話外で、この機能を使用して PC のコンテンツを共有します。手順はどちらの場合も同じですが、ここでは通話中の方法のみ説明します。



プレゼンテーションのソースを接続し、オンになっていることを確認します。場合によっては、[共有 (Share)] (表示されている場合は画面の下部中央にあります) を選択し、リモート コントロールの OK を押す必要があります。



ソースが共有されます。



共有画像のサイズは、[最小化 (Minimize)]/[最大化 (Maximize)] フィールドで操作します。このフィールドは、ディスプレイの下部に並んでいます (左から 2 番目)。必要に応じて、このフィールドを選択し、リモート コントロールの OK を押します。



コンテンツの共有を停止するには、[共有を中止 (Stop Sharing)] (画面の下部に並んでいます (一番左)) を選択し、リモート コントロールの OK を押します。



予定された 会議

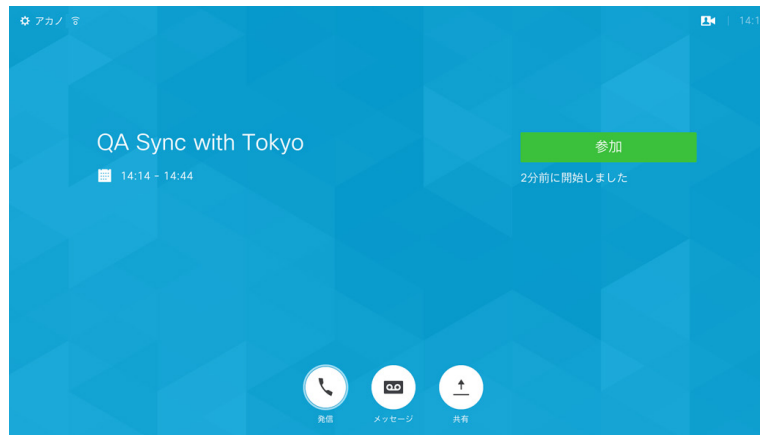




予定された会議

会議リストを表示する

参加が許可されている会議には、リモートコントロールでカーソルを緑色の [参加 (Join)] (画面左半分の真中あたりにあります) に移動させて参加できます。リモートコントロールの OK をクリックします。



会議リストの基本

ビデオ会議をスケジュールすることができ、管理システムに、ビデオシステムを接続することができます。そうすると、予定されているすべての会議が [会議リスト (List of Meetings)] に表示されます。

会議に参加する時刻になったら、リモートコントロールを使用して、図の [参加 (Join)] をクリックします。

スケジュールシステムから着信があった場合、着信として処理されます。



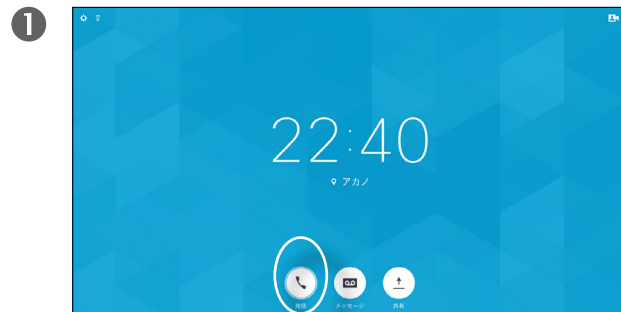
連絡先



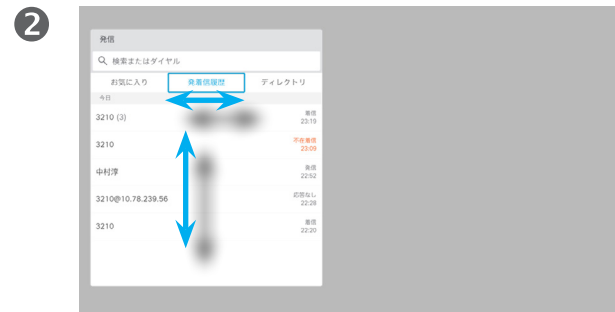


連絡先

非通話時に [お気に入り (Favorite)] に追加する



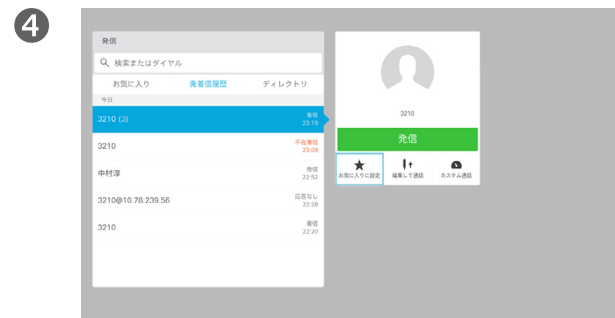
1 [発信 (Call)] (画面の下部に並んでいる一番左のフィールド) を選択し、リモート コントロールの OK を押すか、緑色の発信ボタンを押します。



2 発信メニューが表示されます。リモート コントロールの横方向キーを使用して、[発信履歴 (Recents)] と [ディレクトリ (Directory)] を切り替え (右側の 2 つ)、いずれかのリストを選択できます。



3 特定のエンタリが見つかったら、リモート コントロールの OK を押して、[発信 (Call)] メニューを開きます。



4 リモート コントロールの下方向キーを使用してカーソルを下に動かし、[お気に入りに設定 (Mark as Favorite)] を選択します。リモート コントロールの OK を押すと、選択したエンタリがお気に入りに追加されます。

お気に入りリストから誰かを削除するには、この手順を繰り返します。

[ディレクトリ (Directory)]、[発信履歴 (Recents)]、[お気に入り (Favorites)] について

[ディレクトリ (Directory)] は、社内電話帳としての役割を果たします。このディレクトリは編集できません。ただし、エンタリを [お気に入り (Favorites)] のリストにコピーした上で編集することはできます。

フォルダをタップしてそのコンテンツを表示します。必要に応じて、ディレクトリをスクロールしてフォルダやフォルダ内のエンタリを探します。

社内ディレクトリを検索する場合は、現在のディレクトリ フォルダとそのサブフォルダのみが対象となります。1 つ上のレベルに移動するには、[戻る (Back)] をタップします。検索を社内ディレクトリ全体に適用する場合は、検索を開始する前に、フォルダを入力 (タップ) しないでください。

ディレクトリからお気に入りのリストにコピーしたエンタリが、その後ディレクトリ内で更新されることがあります。この更新はお気に入りのリストに反映されません。この場合、お気に入りのリストの該当するエンタリを手動で更新する必要があります。手動の更新には、[編集して通話 (Edit and Call)] を使用します。

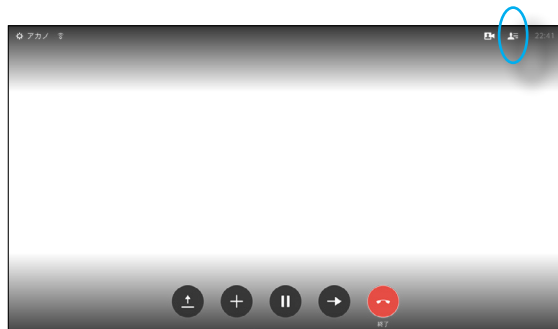


連絡先

通話中に [お気に入り (Favorite)] に追加する

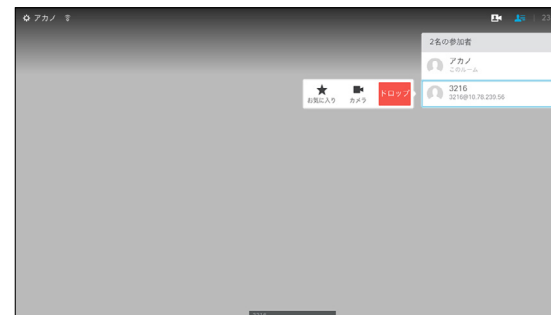
[お気に入り (Favorites)] について

1



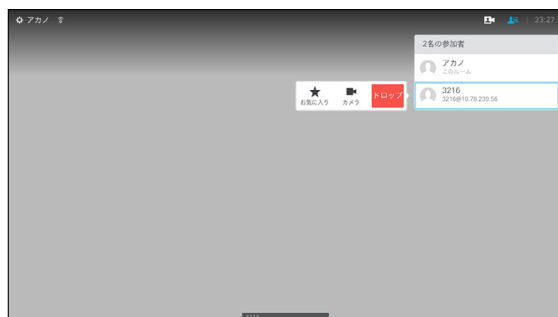
通話中は、リモート コントロールを使用して [参加者 (Participants)] の アイコン (右上にあります) に移動し、リモート コントロールの OK を押します。

2



通話中の参加者のリストを示すメニューが表示されます。下方向キーを使用して [お気に入り (Favorites)] に追加する参加者に移動し、リモート コントロールの OK を押します。サブメニューが表示されます。

3



次に、このサブメニューの [お気に入り (Favorite)] に移動し (一番左)、リモート コントロールの OK を押します。選択した参加者が [お気に入り (Favorite)] に追加されます。

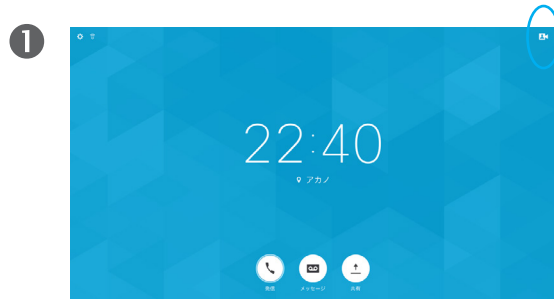
[お気に入り (Favorites)] は、個人用のディレクトリです。エントリは、社内ディレクトリから追加することも (詳細については前のページを参照)、発信先または着信元から追加することもできます。



カメラ 操作



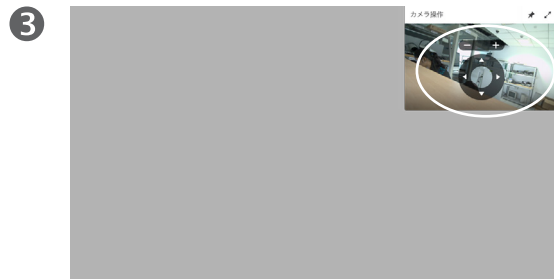
カメラ設定を表示する (ローカル カメラ)



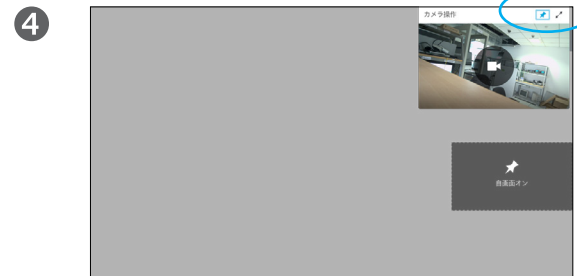
通話中または非通話時に (図を参照)、カーソルを右上のカメラアイコンに置きます。リモート コントロールの OK を押します。



カメラ アイコンが表示されます。リモート コントロールの OK をもう一度押します。



カメラのパン、ズーム、および傾きを調整できるようになります。リモート コントロールの増/減コントロールを使用してズームを調整し、方向コントロールを使用してパンと傾きを調整します。



また、自画面の固定 (常に表示する) や最大化なども、このメニューの右上にあるアイコンを選択して実行できます。



戻るボタンを押してメニューを終了します。

カメラ設定について

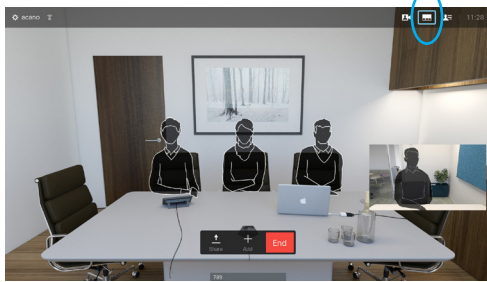
カメラ設定では、カメラのズーム、パン、傾きを制御できます。

自画面 (他の参加者に表示される画像を自分のシステムに表示する) のオン/オフ、表示の最小化と最大化 (フルスクリーン) の切り替えが可能です。

自画面は常に表示しておくことができます。これを固定すると言います。

画面上のピクチャ イン ピクチャの位置を変更する

1



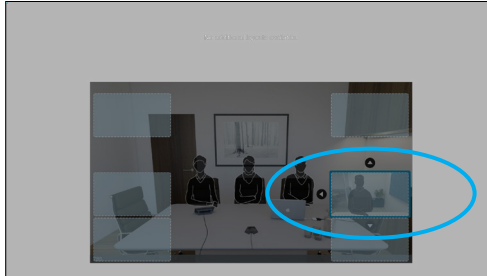
自画面を有効にしているか（前のページを参照）、ピクチャ イン ピクチャがあるレイアウトの場合は、右上の [レイアウト (Layout)] () に移動し、リモート コントロールの OK を押します。レイアウト アイコンは、該当する場合にだけ表示されます。

2



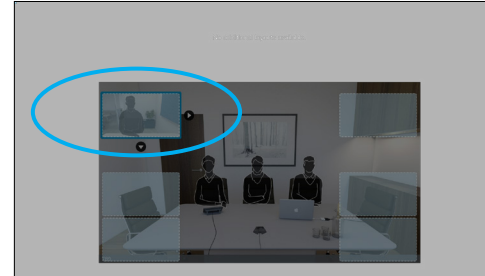
レイアウト メニューが表示されます。リモート コントロールの下矢印を押して、自画面に移動します。

3



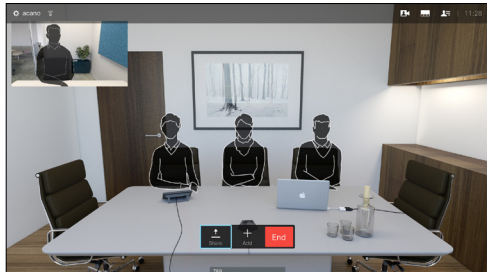
自画面が青色に変わり、選択されていることが表示されます。リモート コントロールの OK を押します。自画面を移動できることを示す矢印が表示されます。新しい位置の候補が表示されます。

4



リモート コントロールの**方向**キーを押して、自画面を移動します。終わったら、OKを押します。

5



画面上の画像は、自画面の元のサイズのまま新しい位置に表示されます。

PIP (ピクチャ イン ピクチャ) を移動する

自画面（他の参加者に見えている画面）はフルサイズで表示しない限り、PiP（ピクチャインピクチャ）で表示されます。

また、コンテンツの共有時に、他のパーティを PiP で表示するレイアウトを設定することもできます。ここでは、自画面を例に挙げて説明します。

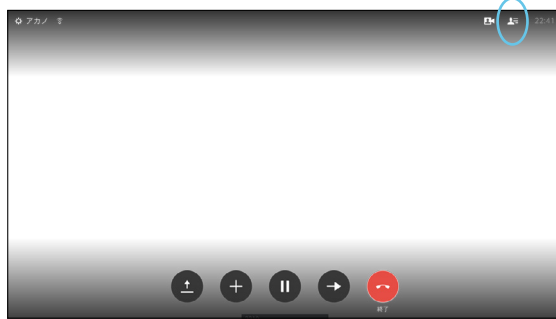
プレゼンテーション中に他の参加者に自分が必ず見えていることを確認するために、自画面を有効にしたい場合があります。

プレゼンテーション中、PiP が画面上の共有コンテンツの重要な部分を隠してしまうことがあります。このため、PiP は移動できます。

他の参加者に表示される画面には影響しません。自分の画面だけに影響する設定です。

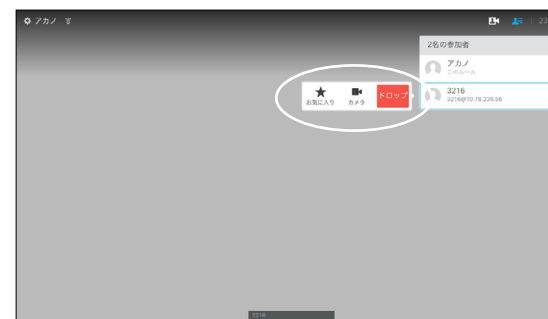
相手先カメラ操作

1



[参加者 (Participants)] に移動し、リモート コントロールの OK を押します。参加者のリストが表示されます。

2

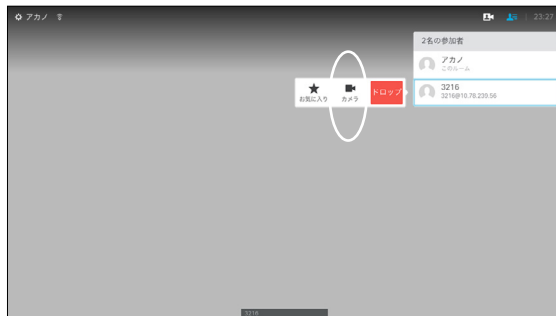


通話中の参加者のリストを示すメニューが表示されます。カメラを制御する参加者に移動し、リモート コントロールの OK を押します。

サブメニューが表示されます。

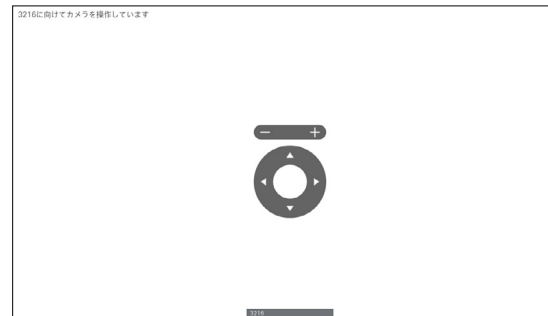
[ドロップ (Drop)] を選択し、OK を押すと、参加者が切断されます。

3



相手先カメラを制御するには、[カメラ (Camera)] に移動し (右から 2 番目)、リモート コントロールの OK をクリックします。

4



好みに応じて、パン、傾き、およびズームの調整をします。リモート コントロールの OK または戻るを使用して終了します。

相手先カメラ操作について

多くのビデオ システムのカメラはリモート制御が可能です。このようなシステムでは、リモート コントロールを使用してパン、傾き、ズームを変更できます。

このようなシステムが相手先 (会議の相手) にある場合は、通話中に相手先カメラを制御できます。



設定

メールアドレス
12@10.78.239.56

IPアドレス
10.78.239.246

MACアドレス
E8:65:49:B9:5F:54

SIPプロキシ
10.78.239.56 (登録済み)

ソフトウェア
ce 8.3.1 Final 3276302 2017-01-13

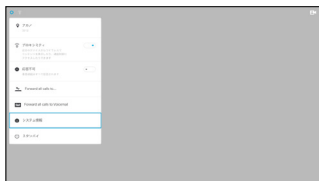
デバイス
Cisco TelePresence SX10



設定

設定にアクセスするには

1



[設定 (Settings)]メニューにアクセスするには、画面の左上に移動し、リモート コントロールの OKを押します。次に、下にある [システム情報 (System Information)] に移動し (メニューの下から 2 番目)、再度 OK を押します。

2



[設定 (Settings)]にはシステムの基本情報が示されますが、ここではセットアップウィザードにアクセスして、システムを再起動することもできます。

設定について

[システム情報 (System Information)] ページには、IP アドレス、MAC アドレス、SIP プロキシ、インストールされているソフトウェアのバージョン、デバイス名などの情報が表示されます。

ここではシステムの再起動ができ、[詳細設定 (Advanced settings)] からセットアップ ウィザードを使用できます。

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2017年5月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先